九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	情報リテラシー	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	1 単　位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	8コマ・16h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	情報ビジネスに7年勤務しつつ、本校の情報リテラシーの授業を行う。		

一般目標（GIO）

パソコンの概要を理解してワープロソフト・表計算ソフトを状況に応じ使い分けができるように習熟し、
パソコンを利用して入力・編集などを行い、読みやすく表現力のある文書やわかりやすい表やグラフの作成、
各アプリケーションソフトの様々な機能を使い分け効率的に操作できることを目標とする。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				情報リテラシー 1.ハードウェア、OSの基礎	パソコンの基本構造と特徴を知り、OSの基本操作をスムーズに行うことができる。
2				情報リテラシー 2.ハードウェア、OSの基礎	パソコンの基本構造と特徴を知り、OSの基本操作をスムーズに行うことができる。
3				情報リテラシー 2.ソフトウェア	Wordの基本操作を理解し、読みやすい文書を作成することができる。
4				情報リテラシー 2.ソフトウェア	Wordの基本操作を理解し、読みやすい文書を作成することができる。
5				情報リテラシー 2.ソフトウェア	Excelの基本操作を理解し、表計算やグラフの作成を行うことができる。
6				情報リテラシー 2.ソフトウェア	Excelの基本操作を理解し、表計算やグラフの作成を行うことができる。
7				情報リテラシー　まとめ 実技試験	パワーポイントを使用できる。 試験。
8				情報リテラシー　まとめ 実技試験	パワーポイントを使用できる。 試験。

評価基準		教科書	参考書
実技試験・授講態度	100%	(有)佐賀情報ビジネス　オリジナルテキスト	
	%	歯科技工管理学	
	%		
	%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:45～12:15）　3限目（13:15～14:45）　4限目（15:40～16:30）

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	外国語	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	2 単　位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	15コマ・30h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	公文教育研究会㈱英語指導員6年。		

一般目標（GIO）

歯科技工士としての専門用語の理解し、海外での生活に必要な会話力を身に付け、修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				Introducing	国際人として恥ずかしくない、自己紹介ができる。
2				Introducing or greeting someone Dictation 1	国際人としてあいさつや人を紹介するときの会話のインプットを表現できる。　重要表現を聞いて書き取る、意味を理解することができる。
3				Explaining your symptoms	様々な身体の症状を英語で理解できる。 重要表現のインプットを表現できる。
4				Questions & answers about pain Dictation 2	医療の場で使用する会話を英語で理解できる。 重要表現を聞いて書き取る。意味を理解できる。
5				Listening about symptoms & pain	ネイティブの英語を聞いて、声に出すことができる。
6				Learning technical terms Dictation 3。	歯科の専門用語を辞書を引きながら学習、理解できる。 重要表現を聞いて書き取ることができる。
7				Asking for Directions Asking to see something different	道を尋ねたり、買い物に行った時の重要表現を学習、理解できる。
8				Other Expressions about shopping Dictation 4	買い物に関するいろいろな表現を学習、理解できる。 重要表現を聞いて書き取る。意味を理解できる。
9				Learning technical terms。 Dictation 5	歯科技工士として必要な専門用語の学習し、重要表現を聞いて書き取ることができる。　意味を理解することができる。
10				At immigration Checking in at a hotel	搭乗手続きやホテルにチェックインするときの重要表現の学習、理解できる。
11				At the registration desk at the exhibition hall Dictation 6	海外の展示会　受付での会話の学習、理解できる。 重要表現を聞いて書き取る。意味を理解できる。
12				Calling someone Making an appointment	電話で挨拶をする表現、面会の予約をする表現の学習、理解できる。
13				Group work Making check sheet	グループに分かれ、これまで学習した重要表現を書きだし、黒板に書き発表することができる。 チェックシートの作成できる。
14				Review Dictation 7	作成したチェックシートの再確認できる。 重要表現を聞き書き取る。意味を理解できる。
15				Mini test Dictation check	チェックシートの重要表現5問の会話テスト。 ディクテーションのチェック。

評価基準		教科書	参考書
会話テスト	10%	新歯科技工士教本　歯科英語	歯科技工辞典
Dictation check	20%		ミミテック英語マスター
筆記テスト	70%		
	%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:45～12:15）　3限目（13:15～14:45）　4限目（15:40～16:30）

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	造形美術	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	1 単　位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	8コマ・16h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	彫刻家5年・佐賀北高等学校非常勤講師勤務2年		

一般目標(GIO)

歯科技工に必要な美的感覚(色彩・形態)を養うための基礎的なデッサン実技、立体作品を制作する。

正確な形を把握するため、デッサンを生かすことを学ぶ。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				対象の把握と表現　1	手のデッサンを通して鉛筆、用具の使用方法、グラデーションが理解できる。
2				対象の把握と表現　2	球のデッサンから陰影のつけ方グラデーションの利用ができる。
3				対象の把握と表現　3 1、歯のデッサン	立方体のデッサンから陰影のつけ方ができる。 歯のスケッチをし、形の特徴を捉えることができる。
4				(3章)歯のデッサンと鑑別 2、歯のデッサン	歯の正確な形を捉えるため、観察しデッサンする歯の形態を説明できる。
5				(3章)歯のデッサンと鑑別 3、顔の観察と表現	顎顔面の形態を描写できる。
6				(3章)歯のデッサンと鑑別 4、歯と唇の観察と表現	歯、歯列の形態を正確に描写できる。
7				形態の把握と表現　勾玉制作	各自デザインした勾玉を、イメージした形で再現し高い完成度を目指し仕上げることができる。
8				(3章)歯のデッサンと鑑別 色彩の把握と表現	色の三属性と歯の色彩の関係を説明できる。

評価基準		教科書	参考書
実技試験	90%	歯の解剖　歯のデッサンと歯型彫刻	
平常点	10%		
	%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:40～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	コミニュケーション学	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	1 単　位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	8コマ・16h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	人材(財)育成・社員研修・交流分析士・モチベーションインストラクター講師・教育コンサルタント・接遇トレーナー。		

一般目標(GIO)

現代社会のコミニュケーション学を根本や理論に基づき他者との関わりを修得するために必要な要素である目的や手段を知り双方通行の基本知識を身に付ける。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				コミニュケーションの概要	コミニュケーションの定義を説明できる。
2				コミニュケーションの概要	コミニュケーションの種類を分類できる。
3				コミニュケーションの概要	声の大きさ、発音、発声、挨拶用語を常に使用できる。
4				コミニュケーションの概要	言葉を媒介としない非言語の意味を説明できる。
5				コミニュケーションの手段	聴く力・表現する力・かかわる力を関係づけることができる。
6				コミニュケーションの手段	傾聴・承認のスキルを使用し応用できる。
7				コミニュケーションの知識	接遇マナー、適切な外見・身嗜みを説明できる。
8				コミニュケーションの知識	接遇マナー、敬語を使う対象と使い方の原則について述べることができる。

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	50%	最新歯科技工士教本	シート:使用
実技試験	30%	歯科技工管理学	プリント:使用
レポート等	20%	全国歯科技工士協議会	
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:40～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	関係法規	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	1 単　位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	8コマ・16h	専任　・　兼任	専任
実務経験	歯科技工所で2年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標（GIO）

医療人としての遵法精神を身に付けるために、歯科技工士として必要な法律を理解し、遵法する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				(10章) 衛生行政	法律の概要・衛生行政の意義・衛生行政の組織と活動を説明できる。
2				(11章) 歯科技工士法 1. はじめに　2. 総則	歯科技工士法の目的・歯科技工の法的定義・歯科技工士の法的定義・歯科技工所の法的定義を説明できる。
3				(11章) 歯科技工士法 3. 免許	歯科技工士免許に関する法律を説明できる。
4				(11章) 歯科技工士法 4. 試験5. 業務	歯科技工士国家試験の意義と目的・歯科技工業務の内容を説明できる。
5				(11章) 歯科技工士法 6. 歯科技工所	歯科技工所に関する法律を説明できる。
6				(11章) 歯科技工士法 7. 雑則　8. 罰則	歯科技工に関する違反行為と罰則を説明できる。
7				(12章) 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法	医療法の目的を説明でき、病院と診療所の法的定義を述べ、歯科医師法・歯科医師の任務・歯科衛生士法の目的を述べ、歯科衛生士の法的定義を説明できる。
8				まとめ 確認試験	確認試験

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	100%	歯科技工管理学	歯科技工士国家試験対策⑦関係法規
	%		
	%		
	%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:45～12:15）　3限目（13:15～14:45）　4限目（15:40～16:30）

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	歯科技工概論	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	2 単　位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	15コマ・30時間	専任　・　兼任	兼任
実務経験	福岡歯科大学で19年間診療、口腔医療センターで診療3年。		

一般目標(GIO)

医療分野における歯科医療の重要性、歯科医療における歯科技工の役割を理解し、
専門基礎科目と専門科目における学習を的確に行うために、
それらに必要な基礎的事項を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				1)歯科医療と歯科技工	①医療と歯科医療を説明する。 ②歯科医療の目的を説明することができる。 ③歯科医療機関の役割を述べることができる。
2				1)歯科医療と歯科技工	④歯科医療関係職種を述べることができる。 ⑤歯科技工と歯科技工学を説明することができる。
3				2)歯科技工士の役割	①歯科技工士の業務を述べることができる。 ②歯科技工士の倫理を述べることができる。 ③歯科技工士の現状を述べることができる。
4				3)顔・口腔組織の形態と機能	①顔の形態と機能を説明することができる。 ②口腔の形態を説明することができる。 ③口腔の機能を説明することができる。
5				4)歯科疾患と周囲組織の変化	①歯の異常を説明することができる。 ②歯列不正・咬合の異常を説明することができる。 ③歯および硬組織疾患を説明することができる。 ④歯髄の疾患を説明することができる。
6				4)歯科疾患と周囲組織の変化	⑤歯周組織疾患を説明することができる。 ⑥歯顎関節症を説明することができる。 ⑦舌および口腔軟組織疾患を説明することができる。
7				4)歯科疾患と周囲組織の変化	⑧顎骨および顔面の疾患を説明することができる。 ⑨歯の喪失に伴う周囲組織変化を説明することができる。 ⑩歯科疾患の現状を述べることができる。
8				5)歯科臨床と歯科技工	①硬組織疾患と歯科技工を説明することができる。 ②歯の欠損と歯科技工を説明することができる。 ③歯周疾患と歯科技工を説明する。④歯列不正と歯科技工を説明することができる。
9				6)歯科臨床と歯科技工	⑤口腔外科疾患と歯科技工を説明することができる。 ⑥顎関節症と歯科技工を説明することができる。
10				5)歯科臨床と歯科技工	⑦スポーツ歯科と歯科技工を説明することができる。 ⑧歯科技工のデジタル化を説明することができる。 ⑨歯科法医学と歯科技工を説明することができる。
11				6)歯科技工の管理運営	①歯科技工の作業環境を説明することができる。 ②歯科技工業務の運営を説明することができる。 ③歯科技工の衛生管理を説明することができる。
12				7)口腔全身の健康管理	①加齢現象(エイジング)を説明することができる。 ②咀嚼と健康を説明する。③歯科技工の衛生管理を述べることができる。
13				7)口腔全身の健康管理	④健康政策を説明することができる。 ⑤健康政策を説明することができる。 ⑥災害時の歯科医療を説明することができる。
14				8)情報のリテラシー	①ハードウエアを述べることができる。 ②ソフトウエアを述べることができる。
15				9)コミュニケーション	①コミュニケーションの概要を説明することができる。 ②接遇マナーを述べることができる。 ③身だしなみを述べることができる。

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	100%	最新歯科技工士教本　歯科技工管理学 全国歯科技工教育協議会編 (医歯薬出版)2017年	

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	口腔・顎顔面解剖学	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	4 単　位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	30 コマ・60h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	大学での解剖学・口腔解剖学・発生学の講義を経験する教員が口腔・顎顔面解剖学について解説する。 【九州大学歯学部・解剖学(6.5単位)、口腔解剖学(2単位)、発生学(1単位)】		

一般目標(GIO)

本科目では、歯牙解剖学ならびに口腔組織発生学、口腔解剖学を学美、以下のことを理解することを目標とする。

歯の解剖学では、歯の種類や形態、歯列、さらにその異常n加えて、顔面・口腔・歯の発生の他、歯や歯周組織

、顎骨、歯肉、口腔粘膜の構造について理解する。

口腔解剖学では、顎顔面口腔領域の骨や筋、脈管、唾液腺などについて理解する。これらの歯と顎顔面口腔の

構造の理解を通じ、歯と口腔の構造を三次元的に捉え、歯科技巧士としての臨床業務へと応用する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				(1章) 歯の概説 1. 歯の定義　　2. 歯の機能 3. 歯の生物学的特徴	歯の生物学的特性、歯の外形と内形、歯の種類と名称、歯の植立様式を理解し、説明できる。
2				(1章) 歯の概説 4. 歯の植立　5. 歯の外形と内形 6. 歯の種類と分類	
3				(1章)歯の概説 7. 歯の記号と歯式 8. 歯の名称	歯の記号と歯式の表示法、歯の方向と部位、歯の形態を理解し、説明できる。
4				(2章)永久歯の形態 9. 歯の形の特徴	
5				(2章) 永久歯の形態 1. 切 歯　　2. 側切歯	永久歯(切歯・犬歯)の形態的特徴を理解し、説明できる。
6				(2章) 永久歯の形態 3. 犬歯	
7				(2章) 永久歯の形態 3. 小臼歯	永久歯(小臼歯)の形態的特徴を理解し、説明できる。
8				(2章) 永久歯の形態 4. 小臼歯	
9				(2章) 永久歯の形態 5. 大臼歯	永久歯(大臼歯)の形態的特徴を理解し、説明できる。
10				(2章) 永久歯の形態 5. 大臼歯	
11				(3章) 乳歯の形態 1. 乳歯の機能と特徴 2. 乳切歯	乳歯の形態的特徴を理解し、説明できる。
12				(3章) 乳歯の形態 3. 乳犬歯　　4. 乳臼歯	
13				(4章) 歯の発生 1. 細胞と組織の発生 2. 歯の発生	歯の発生、発育および交換の過程を理解し、説明できる。
14				(4章) 歯の発生 3. 歯の萌出と脱落	

15				(5章) 歯と歯周組織 1. 歯の組織 2. 歯周組織	歯の組織および歯周組織の基本的構造と、それらの加齢変化を理解し、説明できる。
16				(5章) 歯と歯周組織 3. 歯や歯周組織の加齢現象	
17				(6章) 歯の異常 7. 萌出異常　　8. 歯列弓の異常 (7章) 歯列・咬合 1. 歯列	歯の数、形態および色の異常について理解し、説明できる。
18				(7章) 歯列・咬合 2. 歯列弓　　3. 咬合彎曲 4. 隣在歯との関係 5. 上下歯列弓の位置関係 6. 切歯の咬合関係 8. 歯の植立🡅🡅	
19				(8章) 頭蓋の骨 1. 脳頭蓋骨	頭蓋骨(脳頭蓋骨)の構造を理解し、説明できる。
20				(8章) 頭蓋の骨 2. 脳頭蓋骨	
21				(8章) 頭蓋の骨 3. 頭蓋の全景	頭蓋骨(顔面頭蓋骨)の構造を理解し、説明できる。
22				(8章) 頭蓋の骨 4. 頭蓋の全景	
23				(9章) 口腔周囲の筋 1. 浅頭筋　　2. 深頭筋	顎顔面の筋の形態的特徴と機能を理解し、説明できる。
24				(9章) 口腔周囲の筋 3. 舌骨筋群	
25				(10章) 顎関節 1. 顎関節の構造	顎関節の構造と機能を理解し、説明できる。
26				(10章) 顎関節 2. 下顎の運動	
27				(11章) 口腔 1. 口腔の隣接器官　　2. 口腔	口腔と口蓋の構造を理解し、説明できる。顎口腔の神経支配を概要できる。
28				(11章) 口腔 3. 口蓋	
29				(11章) 口腔 4. 唾液腺　　5. 舌	唾液腺の役割と存在部位とともに舌の構造と役割を理解し、説明できる。あわせて、顎口腔の加齢現象を説明できる。
30				(11章) 口腔 6. 咽頭と喉頭	

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	100%	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	
	%		
	%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　　2限目(10:45～12:15)　　3限目(13:15～14:45)　　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	歯の解剖学(実習)	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	5 単　位	講義　・　実習	実習
コマ数・時間数	82コマ・164h	専任　・　兼任	専任
実務経験	歯科医院で3年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標(GIO)

口腔解剖学・発生学で学んだ知識に基づき、機能美を備えた歯の形態を造形する彫刻技術を修得する。

回数	月	日	限目	項目		行動目標(SBOs)
1				上顎中切歯	スケッチ	歯を立体的に表現することで、歯列の構成要素としてあるべき歯の形態および特徴の認識を深めスケッチを行うことができる。
2				上顎中切歯	石膏ブロック流し	真空攪拌機の使用法を身に付け、気泡が入らないようにゴム印象に石膏注入操作を行うことができる。
3				上顎中切歯	石膏ブロック調整	ノギスを用い石膏棒の測定法を身に付け、砥石を用い石膏棒を規定の寸法に調整を行うことができる。
4				上顎中切歯	番号記入	番号記入に必要な道具を準備し、番号設計を行い、設計した番号を油性マジックで規定の寸法に記入を行うことができる。
5				上顎中切歯	面取り(設計)	面取りの記入に必要な道具を準備し、見本模型の基準点の座標の測定を行い、寸法を元に各面に設計を行うことができる。
6				上顎中切歯	面取り(彫刻)	歯の大きさを理解しノギスを用い石膏棒の測定法・切り出しナイフの使用法を身に付け、石膏棒を規定のサイズに彫刻を行うことができる。
7				上顎中切歯	近遠心側面外形の記入	見本模型の基準点の座標を測定を行い、角柱の各面にマーキングを行い、この基準点をもとに各面の外形の記入を行うことができる。
8				上顎中切歯	近遠心側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
9				上顎中切歯	唇舌側面外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、隅角徴を理解し近遠心側面を削った石膏棒に唇舌側面外形の記入を行うことができる。
10				上顎中切歯	唇舌側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線外周を平滑に彫刻を行うことができる。
11				上顎中切歯	下面観外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、彎曲徴を理解し歯を上面から観察して石膏棒の上面より記入を行うことができる。
12				上顎中切歯	下面観外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
13				上顎中切歯	歯頸線の記入	歯頸線の記入に必要な道具を準備し、近遠心・唇舌側面の歯頸線の記入を行うことができる。
14				上顎中切歯	歯頸線の彫刻	歯頸線の彫刻に必要な道具を準備し、エマージェンスプロファイルが得られるような調整を習得し、彫刻を行うことができる。
15				上顎中切歯	歯根の彫刻	歯根の彫刻に必要な道具を準備し彫刻を行うことができる。
16				上顎中切歯	舌側面窩の記入	舌側面窩の彫刻に必要な道具を準備し、舌側面窩に舌側面溝の記入を行うことができる。
17				上顎中切歯	舌側面窩の彫刻	舌側面窩の彫刻に必要な道具を準備し舌側面窩の彫刻を行うことができる。

18				上顎中切歯	唇側面の記入	切縁は機能面で最も重要な部分であることを念頭に置き、唇側面に唇側面溝・横走隆線の記入を行うことができる。
19				上顎中切歯	唇側面の彫刻	前歯の機能の理解・天然歯のもつ有機的な造形美の表現法を習得し、唇側面の彫刻を行うことができる。
20				上顎中切歯	仕上げ	カービングナイフなどで彫刻面を平滑に整え、歯ブラシやペーパーを用い彫刻した各面を整え全体の仕上げを行う。
21				上顎犬歯	スケッチ	歯を立体的に表現することで、歯列の構成要素としてあるべき歯の形態および特徴の認識を深めスケッチを行うことができる。
22				上顎犬歯	石膏ブロック製作	石膏注入操作に必要な真空攪拌機の使用法を身に付け石膏硬化後、ノギス・砥石を用い石膏棒を規定の寸法に調整を行うことができる。
23				上顎犬歯	番号記入・面取り(設計)	設計した番号を油性マジックで規定の寸法に記入を行うことができる。見本模型基準点の測定を行い寸法を元に各面に設計ができる。
24				上顎犬歯	面取り(彫刻)	歯の大きさを理解し、ノギスを用い石膏棒の測定法・切り出しナイフの使用法を身に付け、石膏棒を規定のサイズに彫刻を行うことができる。
25				上顎犬歯	近遠心側面外形の記入	各面の名称を理解し、見本模型基準点を測定をして各面にマーキングを行い、この基準点をもとに各面の外形の記入を行うことができる。
26				上顎犬歯	近遠心側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
27				上顎犬歯	唇舌側面外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、隅角徴を理解し近遠心側面を削った石膏棒に唇舌側面外形の記入を行うことができる。
28				上顎犬歯	唇舌側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線外周を平滑に彫刻を行うことができる。
29				上顎犬歯	下面観外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、彎曲徴を理解し、歯を上面から観察し石膏棒の上面より記入を行うことができる。
30				上顎犬歯	下面観外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、彎曲徴を意識し外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
31				上顎犬歯	歯頸線の記入・彫刻	近遠心・唇舌側面の歯頸線の違いを理解し歯頸線の記入を行い、エマージェンスプロファイルが得られるような彫刻を行うことができる。
32				上顎犬歯	歯根の彫刻	歯根の彫刻に必要な道具を準備し、彫刻を行うことができる。
33				上顎犬歯	舌側面窩の記入・彫刻	舌側面窩の記入・彫刻に必要な道具を準備し、舌側面窩に舌側面溝の記入・彫刻を行うことができる。
34				上顎犬歯	唇側面の記入・彫刻	尖頭の機能を理解し・天然歯のもつ有機的な造形美の表現法を習得し、唇側面に唇側面溝・横走隆線の記入・彫刻を行うことができる。
35				上顎犬歯	仕上げ	カービングナイフなどで彫刻面を平滑に整え、歯ブラシやペーパーを用い彫刻した各面を整え全体の仕上げを行うことができる。
36				上顎第一小臼歯	石膏ブロック製作	ゴム印象に石膏注入操作を行い、石膏硬化後、ノギス・砥石を用い石膏棒を規定の寸法に調整を行うことができる。
37				上顎第一小臼歯	番号記入・面取り(設計)	設計した番号を油性マジックで規定の寸法に記入を行うことができる。見本模型基準点の測定を行い寸法を元に各面に設計ができる。
38				上顎第一小臼歯	面取り(彫刻)	歯の大きさを理解しノギスを用い石膏棒の測定法・切り出しナイフの使用法を身に付け、石膏棒を規定のサイズに彫刻を行うことができる。
39				上顎第一小臼歯	近遠心側面外形の記入	石膏棒の各面の名称を理解し、見本模型基準点の測定をし角柱の各面にマーキングを行い、この基準点に各面の外形の記入をができる。
40				上顎第一小臼歯	近遠心側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
41				上顎第一小臼歯	頬舌側面外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、逆隅角徴を理解し近遠心側面を削った石膏棒に頬舌側面外形の記入を行うことができる。
42				上顎第一小臼歯	頬舌側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、咬頭の向き・高さに注意し外形線外周を平滑に彫刻を行うことができる。
43				上顎第一小臼歯	下面観外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、逆彎曲徴を理解し、歯を上面から観察し石膏棒の上面より記入を行うことができる。
44				上顎第一小臼歯	下面観外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、逆彎曲徴を意識し外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
45				上顎第一小臼歯	歯頸線の記入・彫刻	近遠心・唇舌側面の歯頸線の違いを理解し歯頸線の記入を行い、エマージェンスプロファイルが得られるような調整彫刻を行うことができる。
46				上顎第一小臼歯	歯根の彫刻	歯根の彫刻に必要な道具を準備し、根数・歯根の流れに注意し、歯根の彫刻を行うことができる。
47				上顎第一小臼歯	固有咬合面の記入	固有咬合面の記入に必要な道具を準備し、固有咬合面の記入を行うことができる。
48				上顎第一小臼歯	固有咬合面の彫刻	隣在歯を仮想した頬・舌側の歯列曲線に乗るように調整し、逆彎曲徴を理解し外形を固有咬合面まで丸めを行うことができる。
49				上顎第一小臼歯	辺縁・主溝・副溝の記入	辺縁・主線の記入に必要な道具を準備し、辺縁・主溝・副溝の記入を行うことができる。
50				上顎第一小臼歯	辺縁・主溝・副溝の彫刻	機能咬頭と非機能咬頭の形態や位置関係、辺縁隆線や各面へ移行部の整え方法・天然歯のもつ有機的な表現彫刻を行うことができる。
51				上顎第一小臼歯	仕上げ	カービングナイフなどで彫刻面を平滑に整え、歯ブラシやペーパーを用い彫刻した各面を整え全体の仕上げを行うことができる。

52				上顎第一大臼歯	石膏ブロック製作	ゴム印象に石膏注入操作を行い、石膏硬化後、ノギス・砥石を用い石膏棒を規定の寸法に調整を行うことができる。
53				上顎第一大臼歯	番号記入・面取り(設計)	規定の寸法に記入を行い、面取りの記入に必要な道具を準備し見本模型の基準点の測定を行い寸法を元に各面に設計を行うことができる。
54				上顎第一大臼歯	面取り(彫刻)	歯の大きさを理解しノギスを用い石膏棒の測定法・切り出しナイフの使用法を身に付け、石膏棒を規定のサイズに彫刻を行うことができる。
55				上顎第一大臼歯	近遠心側面外形の記入	見本模型の基準点の座標を測定をし角柱の各面にマーキングを行い、この基準点をもとに各面の外形の記入を行うことができる。
56				上顎第一大臼歯	近遠心側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
57				上顎第一大臼歯	頬舌側面外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、隅角徴を理解し近遠心側面を削った石膏棒に頬舌側面外形の記入を行う。
58				上顎第一大臼歯	頬舌側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、咬頭の向き・高さに注意し外形線外周を平滑に彫刻を行う。
59				上顎第一大臼歯	下面観外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、彎曲徴を理解し、歯を上面から観察し石膏棒の上面より記入を行うことができる。
60				上顎第一大臼歯	下面観外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、彎曲徴を意識し外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
61				上顎第一大臼歯	歯頸線の記入・彫刻	近遠心・唇舌側面の歯頸線の違いを理解し歯頸線の記入を行い、エマージェンスプロファイルが得られるような調整彫刻を行うことができる。
62				上顎第一大臼歯	歯根の彫刻	歯根の彫刻に必要な道具を準備し、根数・歯根の流れに注意し、歯根の彫刻を行うことができる。
63				上顎第一大臼歯	固有咬合面の記入	固有咬合面の記入に必要な道具を準備し、固有咬合面の記入を行うことができる。
64				上顎第一大臼歯	固有咬合面の彫刻	隣在歯を仮想した頬・舌側の歯列曲線に乗るように調整し、彎曲徴を理解し外形を固有咬合面まで丸めを行うことができる。
65				上顎第一大臼歯	辺縁・主溝・副溝の記入	辺縁・主線の記入に必要な道具を準備し、辺縁・主溝・副溝の記入を行うことができる。
66				上顎第一大臼歯	辺縁・主溝・副溝の彫刻	機能咬頭と非機能咬頭の形態や位置関係、辺縁隆線や各面へ移行部の整え方法・天然歯のもつ有機的な造形美の彫刻を行うことができる。
67				上顎第一大臼歯	仕上げ	カービングナイフなどで彫刻面を平滑に整え、歯ブラシやペーパーを用い彫刻した各面を整え全体の仕上げを行うことができる。
68				下顎第一大臼歯	石膏ブロック製作	ゴム印象に石膏注入操作を行い、石膏硬化後、ノギス・砥石を用い石膏棒を規定の寸法に調整を行うことができる。
69				下顎第一大臼歯	番号記入・面取り(設計)	設計した番号を油性マジックで規定の寸法に記入を行い、見本模型の基準点の座標を測定を行い寸法を元に各面に設計を行うことができる。
70				下顎第一大臼歯	面取り(彫刻)	歯の大きさを理解しノギスを用い石膏棒の測定法・切り出しナイフの使用法を身に付け、石膏棒を規定のサイズに彫刻を行うことができる。
71				下顎第一大臼歯	近遠心側面外形の記入	見本模型の基準点の座標を測定をし角柱の各面にマーキングを行い、この基準点をもとに各面の外形の記入を行うことができる。
72				下顎第一大臼歯	近遠心側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、外形線の外周を平滑に彫刻を行うことができる。
73				下顎第一大臼歯	頬舌側面外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、隅角徴を理解し近遠心側面を削った石膏棒に頬舌側面外形の記入を行うことができる。
74				下顎第一大臼歯	頬舌側面外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、咬頭の向き・高さに注意し外形線外周を平滑に彫刻を行うことができる。
75				下顎第一大臼歯	下面観外形の記入	外形の記入に必要な道具を準備し、彎曲徴を理解し、歯を上面から観察し石膏棒の上面より記入を行う。
76				下顎第一大臼歯	下面観外形の彫刻	外形の彫刻に必要な道具を準備し、彎曲徴を意識し外形線の外周を平滑に彫刻を行う。
77				下顎第一大臼歯	歯頸線の記入・彫刻	近遠心・唇舌側面の歯頸線の違いを理解しながら歯頸線の記入を行い、エマージェンスプロファイルが得られるような調整を習得し、彫刻を行うことができる。
78				下顎第一大臼歯	歯根の彫刻	歯根の彫刻に必要な道具を準備し、根数・歯根の流れに注意し、歯根の彫刻を行うことができる。
79				下顎第一大臼歯	固有咬合面の記入・彫刻	固有咬合面の記入を行い、隣在歯を仮想した頬・舌側の歯列曲線に乗るように調整し、彎曲徴を理解し外形を固有咬合面まで丸めを行うことができる。
80				下顎第一大臼歯	辺縁・主溝・副溝の記入	辺縁・主線の記入に必要な道具を準備し、辺縁・主溝・副溝の記入を行うことができる。
81				下顎第一大臼歯	辺縁・主溝・副溝の彫刻	、各隆線の機能や形を考慮し機能咬頭と非機能咬頭の形態や位置関係、辺縁隆線や各面へ移行部の整え方法・天然歯のもつ有機的な造形美の彫刻を行うことができる。
82				下顎第一大臼歯	仕上げ	カービングナイフなどで彫刻面を平滑に整え、歯ブラシやペーパーを用い彫刻した各面を整え全体の仕上げを行うことができる。

評価基準		教科書	参考書
提出物	100%	口腔・顎顔面解剖学(医歯薬出版)	歯型彫刻マニュアル(九州医療専門学校)
	%		
	%		

	%			

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	顎口腔機能学	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	2 単位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	20コマ・40h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	日本補綴歯科学会専門医・指導医の教員が臨床例を示しながら講義を行う。		

一般目標（GIO）

顎口腔系の機能を営む歯・歯周組織・上下歯列による咬合・上下顎骨・舌骨・顎関節とこれらに付着する筋・口唇などの軟組織・唾液腺・およびこれらの器官に関与する神経系の機能、さらにはこれらの構成単位の障害による機能異常に関する知識を身につける。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				顎口腔系の形態	歯列と咬合の関係を説明できる。
2				顎口腔系の形態	
3				顎口腔系の機能	顎口腔系の機能を説明できる。
4				顎口腔系の機能	下顎運動の分析に必要な基準点、基準平面を説明できる。
5				顎口腔系の機能	咬合に関与する平面を説明できる。
6				顎口腔系の機能	
7				下顎位	下顎位の定義を説明できる。
8				下顎位	
9				下顎運動	下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。
10				下顎運動	
11				下顎運動	下顎の限界運動を説明できる。
12				下顎運動	下顎の機能運動を説明できる。
13				歯の接触様式	機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。
14				歯の接触様式	
15				歯の接触様式	咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。
16				歯の接触様式	咬合干渉の種類と原因を説明できる。

17				咬合器	咬合器の種類、機構および使用目的を説明できる。
18				咬合器	フェイスボウの取り扱いを説明できる。
19				咬合器 咬合診査と顎機能障害	咬合器の使用手順と調節方法は説明できる。
20				咬合診査と顎機能障害	咬合検査と顎機能障害を説明できる。
11					
12					
13					
14					
15					

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	100%	顎口腔機能学	
	%		
	%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	歯科理工学	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	前・後期
単　位　数	5 単位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	38コマ・76h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	無し		

一般目標（GIO）

歯科技工士が製作する技工物を口腔内で十分機能させるためには、製作に用いる歯科材料の基礎的な性質、特徴、使用法について、理解しなければならない。学生は、本講義を受講することによって歯科材料の物理的、化学的、生物学的、機械的性質や特徴を理解するとともに、それらの性質等に基づいた適切な歯科材料の使用法や技工物の製作法について理解する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				歯科材料の性質	物質の構造と結合について説明できる。
2				歯科材料の性質	歯科材料が示す機械的性質について説明できる。
3				歯科材料の性質	歯科材料が示す機械的性質、物理的性質について説明できる。
4				歯科材料の性質	歯科材料が示す物理的性質、化学的性質、生物学的性質について説明できる。
5				印象材	印象とは何か説明できる。 印象材の所要性質を説明できる。 印象材の種類を列記し、分類できる。
6				印象材	各種印象材の組成、特徴について説明できる。
7				模型材	模型の必要性を説明でき、印象と関係づけることができる。 模型材の所要性質について説明できる。
8				模型材	石膏の硬化反応、特徴について説明できる。
9				ワックス	ワックスの種類を列記し、用途について説明できる。 ワックスの組成、性質について説明できる。
10				レジン材料	義歯床用レジンを列記し、分類できる。 義歯床用レジンの所要性質を説明できる。
11				レジン材料	加熱重合レジンの組成と重合反応について説明できる。
12				レジン材料	加熱重合レジンの物理的、化学的、機械的、生物学的性質について説明できる。
13				レジン材料	加熱重合レジンを用いた義歯製作法について説明できる。
14				レジン材料	常温重合レジンの組成と重合反応について説明できる。 常温重合レジンを用いた義歯製作法について説明できる。
15				レジン材料	その他の常温重合レジン組成、重合反応、義歯製作法について説明できる。 義歯床関連材料の種類を列記でき、特徴について説明できる。
16				レジン材料	歯冠用硬質レジンの組成、性質について説明できる。 歯冠用硬質レジンと金属との接着機構について説明できる。
17				セラミック材料	歯科用陶材の種類を列記し、分類できる。 歯科用陶材の一般的性質について説明できる。

18				セラミック材料	長石系陶材の組成を列記できる。 長石系陶材の築盛について説明できる。 長石系陶材の焼成について説明できる。
19				セラミック材料	金属焼付用陶材の適用について説明できる。 金属焼付用陶材と陶材焼付用合金との結合について説明できる。 金属焼付用陶材と陶材焼付用合金との関連について説明できる。
20				セラミック材料	ジルコニア陶材について説明できる。 その他の陶材について説明できる。
21				歯科用合金	歯科用合金の用途について列記でき、分類できる。 歯科用合金に含まれる金属元素を列記でき、各元素の性質を説明できる。
22				歯科用合金	歯科用合金の所要性質について説明できる。 鋳造用合金の所要性質について説明できる。 加工用合金、鑞付け用合金について説明できる。
23				歯科用合金	金合金の種類、組成、用途を列記できるとともに性質を説明できる。
24				歯科用合金	銀合金の種類、組成、用途を列記できるとともに性質を説明できる。
25				歯科用合金	コバルトクロム合金の組成、用途を列記できるとともに性質を説明できる。 ステンレス鋼について説明できる。
26				歯科用合金	チタン、チタン合金の種類、組成、用途を列記できるとともに性質を説明できる。
27				鋳造理論	鋳造の手順と鋳造理論の概要を説明できる。 鋳造精度について説明できる。
28				埋没材	埋没材の所要性質について説明できる。 埋没材の種類と組成を列記できるとともに、成分の役割を説明できる。
29				埋没材	石膏系埋没材の性質と埋没操作について説明できる。
30				埋没材	非石膏系埋没材の性質と埋没操作について説明できる。
31				埋没操作	原型(ワックスパターン)の作製から埋没までの操作を列記でき、注意点等について説明できる。
32				鋳造操作	合金の融解方法、鋳造機について列記でき、各々の特徴について説明できる。
33				鋳造操作	鋳造欠陥について列記でき、各々原因と対策について説明できる。
34				金属の接合	歯科用合金の鑞付け、溶接、鋳接について各々の方法、特徴について説明できる。
35				金属の加工・熱処理	歯科用合金の塑性加工、熱処理について、そのメカニズムと合金の状態について説明できる。
36				修復物の研磨	研磨の意義について説明でき、修復物に応じた研磨方法と材料・器具を列記し、各々について説明できる。
37				新しい加工技術と修復物の安定性	CAD/CAM、3Dプリンターについてその原理、材料について説明できる。
38				その他の歯科材料	合着材、接着剤、成形修復材、インプラント材料について説明できる。

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	70%	最新歯科技工士教本 歯科理工学 全国歯科技工教育協議会編 医歯薬出版	
小テスト	20%		
平常点	10%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	歯科理工学実習	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	前期・後期
単　位　数	3　単　位	講義　・　実習	実習
コマ数・時間数	58コマ・116h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	歯科大学で歯科材料・器械に関する教育経験を有する教員が、技工用材料の特徴および取り扱い方法について実習を行い、講義で習得した知識との整合性と体系化を指導する。		

一般目標（GIO）

歯科技工で使用される歯科材料は，日進月歩で進化しているため，歯科材料についての十分な知識と正しい

取り扱い方法の習得は歯科技工士の業務に非常に重要である。そこで本実習では、講義で修得した知識を基にして各種

歯科材料の正しい取り扱い方法を学び、技工物作製に向けて必要となる知識と技術の基本を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				歯科材料の性質　1	精密測定器具の取り扱い方法を説明できる。 歯科用合金の引張り強さを説明できる。
2				歯科材料の性質　1	
3				歯科材料の性質　1	
4				歯科材料の性質　1	
5				歯科材料の性質　2	歯科用高分子材料の曲げ強さを説明できる。 硬さ試験の理論と測定方法を説明できる。
6				歯科材料の性質　2	
7				歯科材料の性質　2	
8				歯科材料の性質　2	
9				印象材の取り扱い方法	各印象材の操作時間に違いを説明できる。 印象材の弾性ひずみと永久ひずみを説明できる。
10				印象材の取り扱い方法	
11				印象材の取り扱い方法	
12				印象材の取り扱い方法	
13				模型材の取り扱い方法	歯科用石こうの硬化時間の違いを説明できる。 各種石こうの硬化膨張と圧縮強さの違いを説明できる。
14				模型材の取り扱い方法	
15				模型材の取り扱い方法	
16				模型材の取り扱い方法	

17				パターン材の取り扱い方法	歯科用ワックスについて変形と応力の関係について説明できる。 ワックスの形成方法と熱収縮との関係について説明できる。
18				パターン材の取り扱い方法	
19				パターン材の取り扱い方法	
20				パターン材の取り扱い方法	
21				鋳造用鋳型材の取り扱い方法1	石こう系鋳型材の硬化時間と硬化膨張を説明できる。
22				鋳造用鋳型材の取り扱い方法1	
23				鋳造用鋳型材の取り扱い方法1	
24				鋳造用鋳型材の取り扱い方法1	
25				鋳造用鋳型材の取り扱い方法2	石こう系埋没材の加熱膨張について説明できる。
26				鋳造用鋳型材の取り扱い方法2	
27				鋳造用鋳型材の取り扱い方法2	
28				鋳造用鋳型材の取り扱い方法2	
29				義歯用レジンの取り扱い方法1	アクリルレジンの加熱・常温重合方法を説明できる。 義歯作製に用いる関連器材の種類と特徴を説明できる。
30				義歯用レジンの取り扱い方法1	
31				義歯用レジンの取り扱い方法1	
32				義歯用レジンの取り扱い方法1	
33				義歯用レジンの取り扱い方法2	アクリルレジンの重合収縮や変形による適合性への影響を説明できる。
34				義歯用レジンの取り扱い方法2	
35				義歯用レジンの取り扱い方法2	
36				義歯用レジンの取り扱い方法2	
37				義歯用レジンの取り扱い方法3	アクリルレジンと人工歯との接着性に影響する因子を説明できる。
38				義歯用レジンの取り扱い方法3	
39				義歯用レジンの取り扱い方法3	
40				義歯用レジンの取り扱い方法3	
41				鋳造用材料の取り扱い方法1	精密鋳造に用いる関連器材の種類と特徴を説明できる。
42				鋳造用材料の取り扱い方法1	
43				鋳造用材料の取り扱い方法1	
44				鋳造用材料の取り扱い方法1	

45				鋳造用材料の取り扱い方法2	鋳型材の膨張による鋳造収縮の補償理論を説明できる。
46				鋳造用材料の取り扱い方法2	
47				鋳造用材料の取り扱い方法2	
48				鋳造用材料の取り扱い方法2	
49				鋳造用材料の取り扱い方法3	鋳造欠陥の発生原因とその防止方法を説明できる。
50				鋳造用材料の取り扱い方法3	
51				鋳造用材料の取り扱い方法3	
52				鋳造用材料の取り扱い方法3	
53				ロウ付け用材料の取り扱い方法	埋没ロウ付け法に用いる関連器材の種類と特徴を説明する。
54				ロウ付け用材料の取り扱い方法	
55				ロウ付け用材料の取り扱い方法	
56				ロウ付け用材料の取り扱い方法	
57				実習のまとめ	実習で使用した材料の特徴と正しい操作方法を説明できる。
58				実習のまとめ	

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	60%	最新歯科技工士教本　歯科理工学	
実技試験	40%	歯科理工学指針	
	%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	有床義歯技工学	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	前期
単　位　数	3 単位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	24コマ・48h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	日本補綴歯科学会専門医・指導医の教員が臨床例を示しながら講義を行う。		

一般目標（GIO）

歯列の欠損補綴治療における有床義歯技工学の意義と目的を理解し、有床義歯の種類と適応症を把握する。

全部床義歯・部分床義歯製作に伴う技工操作に関する知識を修得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				有床義歯技工学概説	有床義歯技工学の意義と目的を説明できる。
2				有床義歯技工学概説	有床義歯の種類・特徴・適応症を列挙できる。
3				全部床義歯の特性	全部床義歯の構造と特性を説明できる。
4				全部床義歯の製作順序	全部床義歯の製作順序を説明できる。
5				全部床義歯製作に伴う技工作業	全部床義歯の印象採得に伴う技工操作を説明できる。
6				全部床義歯製作に伴う技工作業	全部床義歯の咬合採得に伴う技工操作を説明できる。
7				全部床義歯製作に伴う技工作業	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を説明できる。
8				全部床義歯製作に伴う技工作業	全部床義歯の蝋義歯埋没と重合操作を説明できる。
9				全部床義歯製作に伴う技工作業	全部床義歯の咬合咬合器装着、人工歯の削合および義歯床の研磨を説明できる。
10				全部床義歯製作に伴う技工作業	
11				部分床義歯の特性	部分床義歯の構造と特性を説明できる。
12				部分床義歯の製作順序	部分床義歯の製作順序を説明できる。
13				部分床義歯の構成要素	部分床義歯の構成要素の構造と役割を説明できる。
14				部分床義歯の構成要素	
15				部分床義歯製作に伴う技工作業	部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を説明できる。
16				部分床義歯製作に伴う技工作業	

17				部分床義歯製作に伴う技工作業	部分床義歯の人工歯排列と歯肉形成を説明できる。 部分床義歯の蝋義歯埋没、重合および研磨を説明できる。
18				部分床義歯製作に伴う技工作業	
19				有床義歯の修理	有床義歯の破折と破損の原因を理解し、その修理方法を説明できる。
20				有床義歯の修理	
21				リベースとリライン	リベース・リラインの目的と方法を説明できる。
22				リベースとリライン	
23				オーバーデンチャー	オーバーデンチャーの目的と種類を説明できる。
24				金属床義歯	金属床義歯の特徴と製作法を説明できる。

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	100%	顎口腔機能学	
	%		
	%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

平成31年度　九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	有床義歯技工学(実習)	学　　年	1　　年　　43　　期生
担　当　者		期　　別	前期･後期
単　位　数	9　単　位	講義　・　実習	実習
コマ数･時間数	135コマ･270h	専任　・　兼任	専任
実務経験	歯科医院で2年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標(GIO)

個人トレーの製作:　精密な印象採得をするために、全部床義歯の上顎、部分床義歯の下顎個人トレーの製作法と、製作に使用される器具、材料等の操作を修得する。

総義歯の製作：　総義歯を製作するために、咬合床の製作と中心咬合位における人工歯の排列およびレジン床の重合、研磨を修得する。

部分床義歯維持装置の製作：　部分床歯を製作するために、維持装置・連結子（鋳造バー、鋳造クラスプ・屈曲クラスプ）の製作法を修得する。

回数	月	日	限目	項目		行動目標(SBOs)
1				個人トレー	模型製作	真空攪拌機の使用方法を身に付け、気泡が入らないようにゴム印象に石膏注入操作ができる。
2				個人トレー	着脱方向の決定	サベヤーの付属品の使用目的を理解し、着脱方向決定ができる。
3				個人トレー	床外形線の記入	床可動粘膜と不動粘膜の境界線を認識し小帯を避けて床外形線の位置を点線で描記ができる。
4				個人トレー	トレー外形線の記入	解剖学的印象と機能印象の違いを理解しトレー外形線の位置を実線で描記ができる。
5				個人トレー	模型のリリーフ	リリーフの目的を理解し、絆創膏でリリーフができる。
6				個人トレー	ブロックアウト	ブロックアウトすべき位置を知るためにサベヤーの操作ができる。
7				個人トレー	スペーサーの圧接	スペーサーの目的を理解し、パラフインワックスの圧接操作を身に付け均等な厚みに圧接ができる。
8				個人トレー	ストッパーの付与	ストッパーの目的と付与位置理解しストッパーの付与ができる。
9				個人トレー	ボクシング	ボクシングの使用目的を理解しRC-Waxでボクシングができる。
10				個人トレー	トレー材料の圧接	トレー材の操作方法を身に付け、気泡が入らないように均等な厚みに圧接ができる。
11				個人トレー	ハンドルの製作	印象採得時に口唇の筋形成を妨げない形態を創造できる。
12				個人トレー	研磨(外形･厚み調節)	印象採得法を認識し外形線及び厚み調整ができる。
13				個人トレー	研磨(外形･厚み調節)	印象採得法を認識し外形線及び厚み調整ができる。
14				個人トレー	研磨(中研磨)	中研磨の目的を理解し研磨ができる。
15				個人トレー	ハンドルの装着	口唇の筋形成を妨げない位置にハンドルの取り付けができる。

16				個人トレー	番号刻入・洗浄	トレーにNo刻入及び模型の洗浄ができる。
17				総義歯	模型製作	模型ゴム枠に石膏を流しゴム枠の高さにトリーマー使用して模型基底面の調整ができる。
18				総義歯	床外形線の記入	床外形線の位置を実線で描記ができる。
19				総義歯	基準線の記入	解剖学的指標をもとに正中線、歯槽頂線を模型に点線で描記ができる。
20				総義歯	模型の緩衝	緩衝すべき部位にリリーフができる。
21				総義歯	ポストダムの付与	ポストダムの目的を理解し、模型を削合ができる。
22				総義歯	基礎床の製作	基礎床の目的を理解し、基礎床の製作ができる。
23				総義歯	基礎床の製作	基礎床の目的を理解し、基礎床の製作ができる。
24				総義歯	咬合堤の製作	咬合堤の平均的な基準の寸法を知り、ベースの築盛ができる。
25				総義歯	咬合堤の製作	咬合堤の平均的な基準の寸法で、位置の調整ができる。
26				総義歯	咬合堤の製作	咬合堤の平均的な基準の寸法で、高さの調整ができる。
27				総義歯	咬合堤の製作	咬合堤の平均的な基準の寸法で、幅の調整ができる。
28				総義歯	咬合堤の製作	咬合堤の平均的な基準の寸法で、角度の調整ができる。
29				総義歯	咬合堤の製作	咬合堤のアーチ調整ができる。
30				総義歯	標準線の印記	標準線の目的を理解し、人工歯選択の標準線の記入ができる。
31				総義歯	スプリットキャスト付与	スプリットキャストの目的を理解し、模型基底面を削除ができる。
32				総義歯	咬合器装着	平均値咬合器への上顎模型装着ができる。
33				総義歯	咬合器装着	平均値咬合器への下顎模型装着ができる。
34				総義歯	人工歯排列(上顎前歯部)	中心咬合位における上顎前歯部の人工歯排列ができる。
35				総義歯	人工歯排列(上顎前歯部)	中心咬合位における上顎前歯部の人工歯排列ができる。
36				総義歯	人工歯排列(上顎前歯部)	中心咬合位における上顎前歯部の人工歯排列ができる。
37				総義歯	人工歯排列(上顎前歯部)	中心咬合位における上顎前歯部の人工歯排列ができる。
38				総義歯	人工歯排列(上顎臼歯部)	中心咬合位における上顎臼歯部の人工歯排列ができる。。
39				総義歯	人工歯排列(上顎臼歯部)	中心咬合位における上顎臼歯部の人工歯排列ができる。
40				総義歯	人工歯排列(上顎臼歯部)	中心咬合位における上顎臼歯部の人工歯排列ができる。
41				総義歯	人工歯排列(上顎臼歯部)	中心咬合位における上顎臼歯部の人工歯排列ができる。
42				総義歯	人工歯排列(上顎臼歯部)	中心咬合位における上顎臼歯部の人工歯排列ができる。
43				総義歯	人工歯排列(下顎臼歯部)	中心咬合位における下顎臼歯部の人工歯排列ができる。
44				総義歯	人工歯排列(下顎臼歯部)	中心咬合位における下顎臼歯部の人工歯排列ができる。

45				総義歯	人工歯排列(下顎臼歯部)	中心咬合位における下顎臼歯部の人工歯排列ができる。
46				総義歯	人工歯排列(下顎臼歯部)	中心咬合位における下顎臼歯部の人工歯排列ができる。
47				総義歯	人工歯排列(下顎臼歯部)	中心咬合位における下顎臼歯部の人工歯排列ができる。
48				総義歯	人工歯排列(下顎前歯部)	中心咬合位における下顎前歯部の人工歯排列ができる。
49				総義歯	人工歯排列(下顎前歯部)	中心咬合位における下顎前歯部の人工歯排列ができる。
50				総義歯	人工歯排列(下顎前歯部)	中心咬合位における下顎前歯部の人工歯排列ができる。。
51				総義歯	歯肉形成(上顎)	義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蝋義歯の表面形態の形成ができる。
52				総義歯	歯肉形成(上顎)	義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蝋義歯の表面形態の形成ができる。
53				総義歯	歯肉形成(上顎)	義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蝋義歯の表面形態の形成ができる。
54				総義歯	歯肉形成(下顎)	義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蝋義歯の表面形態の形成ができる。
55				総義歯	歯肉形成(下顎)	義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蝋義歯の表面形態の形成ができる。
56				総義歯	歯肉形成(下顎)	義歯床の唇・頬側・舌側等の形態をできるだけ自然に近い状態にするとともに、義歯の機能を向上させるため蝋義歯の表面形態の形成ができる。
57				総義歯	埋没	蝋義歯のワックス部分を床用レジンに置換するため準備を行い、一次埋没ができる。
58				総義歯	埋没	蝋義歯のワックス部分を床用レジンに置換するため準備を行い、一次埋没ができる。
59				総義歯	埋没	二次埋没ができる。
60				総義歯	埋没	三次埋没ができる。
61				総義歯	開輪・流蝋	開輪・流蝋ができる。
62				総義歯	レジン填入	レジン填入タイミング(もち状期)に填入操作ができる。
63				総義歯	重合操作	レジン重合の温度スケジュール管理ができる。
64				総義歯	重合操作	レジン重合の温度スケジュール管理ができる。
65				総義歯	フラスク開輪	上顎模型を壊さないようにフラスク開輪ができる。
66				総義歯	フラスク開輪	下顎模型を壊さないようにフラスク開輪ができる。
67				総義歯	咬合器再装着	スプリットキャストを用いて咬合器再装着ができる。
68				総義歯	人工歯の削合	人工歯の削合の目的及びBULLの法則を理解し削合ができる。
69				総義歯	人工歯の削合	人工歯の削合の目的及びBULLの法則を理解し削合ができる。
70				総義歯	研磨1	床縁及び口蓋部等の厚み調整操作ができる。
71				総義歯	研磨1	床縁及び口蓋部等の厚み調整操作ができる。
72				総義歯	研磨1	床縁及び口蓋部等の厚み調整操作ができる。

73				総義歯	研磨2	義歯口蓋部、床縁等の研磨ができる。
74				総義歯	研磨2	義歯口蓋部、床縁等の研磨ができる。
75				総義歯	研磨2	義歯口蓋部、床縁等の研磨ができる。
76				総義歯	研磨3	最終仕上げ研磨、洗浄ができる。
77				維持装置	模型製作	模型ゴム枠に石膏を流しゴム枠の高さにトリーマー使用して模型基底面の調整ができる。
78				維持装置	着脱方向の決定	サベヤーの使用目的を説明ができる。
79				維持装置	サベーイング	鉤歯の歯軸方向及びアンダーカットの測定ができる。
80				維持装置	鉤尖の位置決定	鉤尖アンダーカット量を認識し位置決定を行うことができる。
81				維持装置	バー・クラスプ外形線の記入	バー、クラスプの目的を理解し、規格寸法の描記ができる。
82				維持装置	バー・クラスプ外形線の記入	バー、クラスプの目的を理解し、規格寸法の描記ができる。
83				維持装置	バー・クラスプ外形線の記入	バー、クラスプの目的を理解し、規格寸法の描記ができる。
84				維持装置	バー・クラスプ外形線の記入	バー、クラスプの目的を理解し、規格寸法の描記ができる。
85				維持装置	床外形線の記入	咬合圧の負担域を理解し総義歯との床外形線を実線で描記ができる。
86				維持装置	床外形線の記入	咬合圧の負担域を理解し総義歯との床外形線を実線で描記ができる。
87				維持装置	ブロックアウト	ブロックアウトの必要性を理解し、アンダーカット部にブロックアウトができる。
88				維持装置	リリーフ	総義歯とのリリーフ部位の違いを理解し、緩衝を行う。
89				維持装置	線鉤の屈曲	線鉤の屈曲ができる。
90				維持装置	線鉤の屈曲	線鉤の屈曲ができる。
91				維持装置	線鉤の屈曲	線鉤の屈曲ができる。
92				維持装置	ワックスステップの付与	パラタルバーを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる。
93				維持装置	ワックスステップの付与	パラタルバーを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる。
94				維持装置	ワックスステップの付与	リンガルバーを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる
95				維持装置	ワックスステップの付与	リンガルバーを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる
96				維持装置	ワックスステップの付与	クラスプを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる。
97				維持装置	ワックスステップの付与	クラスプを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる。
98				維持装置	ワックスステップの付与	クラスプを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる。
99				維持装置	ワックスステップの付与	クラスプを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる。
100				維持装置	ワックスステップの付与	クラスプを形成するパターンレジンのワックスステップを行うことができる。

101				維持装置	パターンレジン築盛(Pバー)	バーを形成するパターンレジンの築盛ができる。
102				維持装置	パターンレジン築盛(Lバー)	バーを形成するパターンレジンの築盛ができる。
103				維持装置	パターンレジン築盛(ｸﾗｽﾌﾟ)	クラスプを形成するパターンレジンの築盛ができる。
104				維持装置	パターンレジン築盛(ｸﾗｽﾌﾟ)	クラスプを形成するパターンレジンの築盛ができる。
105				維持装置	パターンレジン築盛(ｸﾗｽﾌﾟ)	クラスプを形成するパターンレジンの築盛ができる。
106				維持装置	パターンレジン築盛(ｸﾗｽﾌﾟ)	クラスプを形成するパターンレジンの築盛ができる。
107				維持装置	パターンレジン築盛(ｸﾗｽﾌﾟ)	クラスプを形成するパターンレジンの築盛ができる。
108				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
109				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
110				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
111				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
112				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
113				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
114				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
115				維持装置	パターンレジン形態修正	パターンレジンで築盛されたバー・クラスプを規程の寸法に形態修正ができる。
116				維持装置	耐火型製作	耐火模型の模型印象を行うことができる。
117				維持装置	耐火型製作	耐火模型の耐火模型材注入を行うことができる。
118				維持装置	耐火型製作	耐火模型の模型乾燥処理ができる。
119				維持装置	耐火型製作	耐火模型の模型乾燥処理ができる。
120				維持装置	ワックスアップ	直接法によるクラスプ製作ができる。
121				維持装置	ワックスアップ	直接法によるクラスプ製作ができる。
122				維持装置	ワックスアップ	直接法によるクラスプ製作ができる。
123				維持装置	ワックスアップ	直接法によるクラスプ製作ができる。
124				維持装置	埋没	耐火模型の埋没操作ができる。
125				維持装置	埋没	パターンレジンクラスプ・バーの埋没操作ができる。
126				維持装置	埋没	パターンレジンクラスプ・バーの埋没操作ができる。
127				維持装置	鋳造	鋳造操作ができる。
128				維持装置	鋳造	鋳造操作ができる。

129				維持装置	研磨1	バー、クラスプの形態修正荒研磨ができる。
130				維持装置	研磨1	バー、クラスプの形態修正荒研磨ができる。
131				維持装置	研磨2	バー、クラスプの中研磨ができる。
132				維持装置	研磨2	バー、クラスプの中研磨ができる。
133				維持装置	研磨2	バー、クラスプの中研磨ができる。
134				維持装置	研磨3	バー、クラスプの最終仕上げ研磨ができる。
135				維持装置	研磨3	バー、クラスプの最終仕上げ研磨、洗浄ができる。

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	0%		歯科技工学実習帳　有床義歯技工学
実技試験	0%		有床実習マニュアル
提出物	100%		
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	歯冠修復技工学	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	3　単位	講義　・　実習	講義
コマ数・時間数	24コマ・48h	専任　・　兼任	兼任
実務経験	日本補綴歯科学会専門医・指導医の教員が臨床例を示しながら講義を行う。		

一般目標（GIO）

補綴治療における歯冠修復技工学の意義と目的を理解し、歯冠修復における種類と適応症を把握する。

歯冠修復補綴装置の製作法を理解する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標（SBOs）
1				歯冠修復技工学概説	歯冠修復技工学の意義と目的を説明できる。
2				歯冠修復技工学概説	歯科治療における一般的な流れを説明できる。
3				クラウンの概要と種類	クラウンの意義、特徴および用途を説明できる。
4				クラウンの概要と種類	部分・全部被覆冠の種類と特徴を説明できる。
5				ブリッジの概要と種類	ブリッジの特徴と構成要素を説明できる。
6				ブリッジの概要と種類	ブリッジの種類を説明できる。
7				クラウンとブリッジの具備要件(1)	クラウンブリッジの生物学的要件を説明できる。
8				クラウンとブリッジの具備要件(1)	
9				クラウンとブリッジの具備要件(2)	クラウンブリッジの構造力的・化学的・審美的要件を説明できる。
10				クラウンとブリッジの具備要件(2)	
11				クラウンとブリッジの製作(1)	クラウンブリッジの製作順序を説明できる。
12				クラウンとブリッジの製作(1)	印象材の種類と特徴を説明できる。
13				クラウンとブリッジの製作(2)	支台築造の意義と目的を説明する。
14				クラウンとブリッジの製作(2)	テンポラリークラウン・ブリッジの意義と目的、製作法を説明できる。
15				クラウンとブリッジの製作(3)	作業用模型の意義と目的、製作法を説明できる。

16				クラウンとブリッジの製作(3)	ワックスアップの種類と方法を説明できる。
17				クラウンとブリッジの製作(4)	埋没と鋳造、研磨の意義と目的を説明できる。
18				クラウンとブリッジの製作(4)	
19				歯冠修復物と部分被覆冠	部分被覆冠の種類と特徴、製作法を説明できる。
20				歯冠修復物と部分被覆冠	
21				全部被覆冠とブリッジ	全部被覆冠の種類と特徴、製作法を説明できる。
22				全部被覆冠とブリッジ	レジン前装冠、陶材焼付冠などの特徴と製作法を説明できる。
23				インプラント	インプラント治療の目的と種類、製作法について説明できる。
24				CAD/CAMシステム	CAD/CAMシステムについて説明できる。

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	100%	最新歯科技工教本　歯冠修復技工学	
	%		
	%		
	%		

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:45～12:15）　3限目（13:15～14:45）　4限目（15:00～16:30）

平成31年度　九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	歯冠修復技工学(実習)	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	4 単　位	講義　・　実習	実習
コマ数・時間数	68コマ・136h	専任　・　兼任	専任
実務経験	歯科医院で3年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標(GIO)

歯冠の一部が齲蝕などで欠損した場合に、修復するインレー・コアの製作方法を習得する。

少数の歯の欠損に対して、欠損部に歯の歯冠形態に近い人工歯を連結修復する臼歯固定性ブリッジ(Br)の

製作方法を習得する。

回数	月	日	限目	項目		行動目標(SBOs)
1				インレー	石膏流し	ゴム枠に真空練和器を用いて石膏を流しこむことができる。
2				インレー	石膏模型の厚み調整	模型の厚み調整を行う。ダウエルピンの埴立位置を模型に記入する操作ができる。
3				インレー	回転防止溝、維持溝の付与	回転防止溝、維持溝の設置を行うことができる
4				インレー	ダウエルピンの植立	回転防止溝、維持溝の必要性を理解し、設置を行う。ピンドリルでダウエルピンの穴あけができる
5				インレー	シリコンフォーマーに二次石膏を注入する	二次石膏の目的を理解する。フォーマーへの石膏注入を行う。一次石膏と二次石膏の境界線出しができる。
6				インレー	分割復位式模型の分割	分割設計線の記入を行う。糸鋸で支台歯、隣在歯の分割ができる。
7				インレー	歯頸部のトリミング	支台歯マージン部のトリミングができる。
8				インレー	マージン記入	マージンの記入を行う。表面処理ができる。
9				インレー	咬合器装着	作業模型の咬合器装着ができる。
10				インレー	咬合器装着	作業模型の咬合器装着ができる。
11				インレー	蝋型採得	インレーの蝋型採得ができる。
12				インレー	蝋型採得	インレーの蝋型採得ができる。
13				インレー	スプルー線の植立	蝋型にスプルー線の植立ができる。
14				インレー	埋没	クリストバライト埋没材を使用して、蝋型埋没ができる。
15				インレー	鋳造	遠心鋳造機を使用して鋳造ができる。
16				インレー	割り出し・支台歯への試適	鋳造後の割り出しを行う。支台歯への試適ができる。

17				インレー	コンタクトポイントの調整	隣在歯とのコンタクトポイントの調整ができる。
18				インレー	咬合の調整	対合歯との咬合の調整ができる。
19				インレー	中研磨	インレーの中研磨ができる。
20				インレー	中研磨	インレーの咬合面研磨ができる。
21				インレー	中研磨	インレーの艶出し研磨ができる。
22				インレー	研磨・最終試適	インレーの最終研磨を行い最終試適ができる。
23				インレー	最終試適・完成提出	最終試適ができる。
24				メタルコア	蝋型採得	メタルコアの蝋型採得ができる。
25				メタルコア	蝋型採得	メタルコアの蝋型採得ができる。
26				メタルコア	埋没	クリストバライト埋没材を使用して、蝋型埋没ができる。
27				メタルコア	鋳造	遠心鋳造機を使用して鋳造ができる。
28				メタルコア	割り出し・支台歯への試適	鋳造後の割り出しを行う。支台歯への試適ができる。
29				メタルコア	形態修正	メタルコアの形態修正ができる。
30				メタルコア	中研磨	メタルコアの中研磨ができる。
31				メタルコア	研磨・最終試適	メタルコアの最終試適ができる。
32				ブリッジ	石膏流し	真空練和器の操作を行う。ゴム枠に石膏を流しこむ作業ができる。
33				ブリッジ	石膏模型の厚み調整	模型の厚み調整を行う。ダウエルピンの埴立位置を模型に記入する操作ができる。
34				ブリッジ	回転防止溝、維持溝の付与	回転防止溝、維持溝の設置ができる。
35				ブリッジ	ダウエルピンの植立	回転防止溝、維持溝の必要性を理解し、設置を行う。ピンドリルでダウエルピンの穴あけができる。
36				ブリッジ	石膏分離材の塗布	ダウエルピンの目的を理解しダウエルピン埴立ができる。
37				ブリッジ	シリコンフォーマーに二次石膏を注入する	二次石膏の目的を理解しフォーマーへの石膏注入ができる。一次石膏と二次石膏の境界線出しができる。
38				ブリッジ	分割復位式模型の分割	分割設計線の記入ができる。糸鋸で分割ができる。
39				ブリッジ	歯頸部のトリミング	トリミングの目的を理解しトリミングができる。
40				ブリッジ	歯頸部のトリミング	トリミングの目的を理解しトリミングができる。
41				ブリッジ	マージン記入	マージンの記入ができる。表面処理の目的を理解し表面処理ができる。
42				ブリッジ	咬合器装着	作業模型の咬合器装着ができる。
43				ブリッジ	咬合器装着	作業模型の咬合器装着ができる。
44				ブリッジ	蝋型採得	蝋型採得ができる。

45				ブリッジ	蝋型採得	蝋型採得ができる。
46				ブリッジ	蝋型採得(ポンティック製作)	蝋型採得(ポンティック)ができる。
47				ブリッジ	蝋型採得(ポンティック製作)	蝋型採得(ポンティック)ができる。
48				ブリッジ	蝋型採得(ポンティック製作)	蝋型採得(ポンティック)ができる。
49				ブリッジ	蝋型採得(連結部)	蝋型採得(連結)ができる。
50				ブリッジ	蝋型採得(連結部)	蝋型採得(連結)ができる。
51				ブリッジ	蝋型採得(窓開け)	蝋型採得(連結)ができる。
52				ブリッジ	スプルー線の植立	スプルー植立ができる。
53				ブリッジ	埋没	蝋型埋没ができる。
54				ブリッジ	鋳造	鋳造ができる。
55				ブリッジ	割り出し・支台歯への試適	鋳造後の割り出後、支台歯への試適ができる。
56				ブリッジ	支台歯への試適	支台歯への試適ができる。
57				ブリッジ	コンタクトポイントの調整	コンタクトポイントの調整ができる。
58				ブリッジ	咬合の調整	対合歯との咬合の調整ができる。
59				ブリッジ	咬合の調整	対合歯との咬合の調整ができる。
60				ブリッジ	中研磨	Brの中研磨ができる。
61				ブリッジ	中研磨	Brの中研磨ができる。
62				ブリッジ	中研磨	Brの中研磨ができる。
63				ブリッジ	レジンフェーシング	Brポンティックのレジンフェーシングができる。
64				ブリッジ	レジンフェーシング	Brポンティックのレジンフェーシングができる。
65				ブリッジ	レジンフェーシング	Brポンティックのレジンフェーシングができる。
66				ブリッジ	研磨	Brの研磨ができる。
67				ブリッジ	研磨・最終試適	Brの研磨ができる。最終試適ができる。
68				ブリッジ	最終試適・完成提出	最終試適ができる。

評価基準		教科書	参考書
提出物	100%	歯科技工学実習帳　歯冠修復歯技工学	
	%	修復実習マニュアル　インレー・コア	
	%	修復実習マニュアル　臼歯固定性ブリッジ(Br)	
	%		

1限目(9:00～10:30)　2限目(10:45～12:15)　3限目(13:15～14:45)　4限目(15:00～16:30)

九州医療専門学校　歯科技工士本科

科　目　名	歯科技工実習	学　　年	1　　年　　44　　期生
担　当　者		期　　別	後期
単　位　数	3 単　位	講義　・　実習	実習
コマ数・時間数	58コマ・116h	専任　・　兼任	専任
実務経験	歯科技工所で2年間実務経験のある教員が教育を行う。		

一般目標（GIO）

作業用模型の製作方法を取得する。

全部鋳造冠の製作方法を取得する。

臨床的実習模型を使ってインレーの製作方法を取得する。

回数	月	日	限目	項目		行動目標（SBOs）
1				模型製作	石膏流し	真空練和器の操作を行う。ゴム枠に石膏を流しこむ作業を行う。
2				模型製作	石膏模型の厚み調整	模型の厚み調整を行う。ダウエルピンの埴立位置を模型に記入する操作を行う。
3				模型製作	回転防止溝、維持溝の付与	回転防止溝、維持溝の設置を行う。
4				模型製作	ダウエルピンの植立	ピンドリルでダウエルピンの穴をあけ、ダウエルピン埴立を行う。
5				模型製作	二次石膏	二次石膏の目的を理解し、フォーマーへの石膏注入を行う。一次石膏と二次石膏の境界線出しを行う。
6				模型製作	模型基底面調整	作業模型の基底面形態の修正を行う。
7				模型製作	二次石膏	作業模型をダイロックトレーに装着する操作を行う。
8				模型製作	「だいちゃん」に模型装着	「だいちゃん」に作業模型の接着を行う。
9				模型製作	分割復位式模型の分割	糸鋸で支台歯、隣在歯の分割を行う。
10				模型製作	「だいちゃん」の分割	糸鋸で支台歯、隣在歯の分割を行う。
11				模型製作	歯頸部のトリミング	支台歯マージン部のトリミングを行う。
12				模型製作	歯頸部のトリミング	支台歯マージン部のトリミングを行う。
13				模型製作	マージン記入	支台歯マージンラインの記入を行う。
14				模型製作	模型の洗浄	スチーマーを用いて、模型の洗浄を行う。
15				模型製作	完成・提出	模型の提出を行う。
16				全部鋳造冠	石膏流し	真空練和器の操作を行う。ゴム枠に石膏を流しこむ作業を行う。

17				全部鋳造冠	石膏模型の厚み調整	模型の厚み調整を行う。ダウエルピンの埴立位置を模型に記入する操作を行う。
18				全部鋳造冠	回転防止溝、維持溝の付与	回転防止溝、維持溝の設置を行う。
19				全部鋳造冠	ダウエルピンの植立	ピンドリルでダウエルピンの穴をあけ、ダウエルピン埴立を行う。
20				全部鋳造冠	シリコンフォーマーに二次石膏を注入する	二次石膏の目的を理解する。フォーマーへの石膏注入を行う。一次石膏と二次石膏の境界線出しを行う。
21				全部鋳造冠	分割復位式模型の分割	糸鋸で支台歯、隣在歯の分割を行う。
22				全部鋳造冠	歯頸部のトリミング	支台歯マージン部のトリミングを行う。
23				全部鋳造冠	マージンライン記入	マージンラインの記入を行う。
24				全部鋳造冠	咬合器装着	上顎模型の咬合器装着を行う。
25				全部鋳造冠	咬合器装着	下顎模型の咬合器装着を行う。
26				全部鋳造冠	蝋型採得	蝋型採得を行う。
27				全部鋳造冠	蝋型採得	蝋型採得を行う。
28				全部鋳造冠	蝋型採得	蝋型採得を行う。
29				全部鋳造冠	スプルー線の植立	蝋型にスプルー線の植立を行う。
30				全部鋳造冠	埋没	クリストバライト埋没材を使用して、蝋型埋没を行う。
31				全部鋳造冠	鋳造	遠心鋳造機を使用して鋳造を行う。
32				全部鋳造冠	割り出し・支台歯への試適	鋳造後の割り出しを行う。支台歯への試適を行う。
33				全部鋳造冠	コンタクトポイントの調整	隣在歯とのコンタクトポイントの調整を行う。
34				全部鋳造冠	対合歯との咬合調整	対合歯との咬合の調整を行う。
35				全部鋳造冠	研磨	中研磨を行う
36				全部鋳造冠	研磨	咬合面研磨を行う
37				全部鋳造冠	研磨	最終研磨を行う
38				全部鋳造冠	最終試適・完成提出	最終試適を行う。
39				臨床模型	石膏流し	真空練和器の操作を行う。ゴム枠に石膏を流しこむ作業を行う。
40				臨床模型	石膏模型の厚み調整	模型の厚み調整を行う。ダウエルピンの埴立位置を模型に記入する操作を行う。
41				臨床模型	回転防止溝、維持溝の付与	回転防止溝、維持溝の設置を行う。
42				臨床模型	ダウエルピンの植立	ピンドリルでダウエルピンの穴をあけ、ダウエルピン埴立を行う。
43				臨床模型	シリコンフォーマーに二次石膏を注入する	二次石膏の目的を理解する。フォーマーへの石膏注入を行う。一次石膏と二次石膏の境界線出しを行う。
44				臨床模型	分割復位式模型の分割	糸鋸で支台歯、隣在歯の分割を行う。
45				臨床模型	歯頸部のトリミング	支台歯マージン部のトリミングを行う。

46				臨床模型	マージンライン記入	マージンラインの記入を行う。
47				臨床模型	咬合器装着	上顎模型の咬合器装着を行う。
48				臨床模型	蝋型採得	蝋型採得を行う。
49				臨床模型	蝋型採得	蝋型採得を行う。
50				臨床模型	スプルー線の植立	蝋型にスプルー線の植立を行う。
51				臨床模型	埋没	クリストバライト埋没材を使用して、蝋型埋没を行う。
52				臨床模型	鋳造	遠心鋳造機を使用して鋳造を行う。
53				臨床模型	割り出し・支台歯への試適	鋳造後の割り出しを行う。支台歯への試適を行う。
54				臨床模型	コンタクトポイントの調整	隣在歯とのコンタクトポイントの調整を行う。
55				臨床模型	対合歯との咬合調整	対合歯との咬合の調整を行う。
56				臨床模型	研磨	中研磨を行う
57				臨床模型	研磨	最終研磨を行う
58				臨床模型	最終試適・完成提出	最終試適を行う。

評価基準		教科書	参考書
提出物	100%	歯科技工学実習帳　歯冠修復歯技工学	
	%	修復実習マニュアル　模型作成	
	%	修復実習マニュアル　全部鋳造冠	
	%	修復実習マニュアル　インレー・コア	

1限目（9:00～10:30）　2限目（10:45～12:15）　3限目（13:15～14:45）　4限目（15:00～16:30）